

授業科目名	社 会 学			担当教員	鈴木 清史	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	社会学の基本的な考え方、概念、方法について学び、人間の行動や、人と人の関係性を社会的に理解する。					
到達目標	<p>受講した学生諸君は、最終的に以下の目標を達成することが期待されている。</p> <p>1) 人間が社会的存在であるとは何かとしての個人とは何かを考えることができる。</p> <p>1) 個人と社会との相互作用の諸相を理解することができる。</p> <p>2) 個人（自分）を取り巻く今日的課題の多様性を把握することができる。</p>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	社会・文化とは何か	講義	社会学の学問的位置づけを理解する (復習)	2時間	鈴木	
2	社会的相互行為	講義	概念整理と理解 (復習)	2時間	鈴木	
3	家族関係	講義	社会の基礎となる家族・集団とは何かを確認 (復習)	2時間	鈴木	
4	社会と規範	講義	人間集団とそれをめぐる規範に関する概念整理 (復習)	2時間	鈴木	
5	教育	講義	教育の意味と社会的機能を理解する (復習)	2時間	鈴木	
6	情報とコミュニケーション	講義	基本的概念の整理 (復習)	2時間	鈴木	
7	個人を取り巻く現代的課題	講義	グローバル化・ローカル化にかかわる概念の整理 (復習)	2時間	鈴木	
8	社会学的研究の方法 まとめてかえて	講義	社会学的研究法の基礎概念の整理 (予・復習)	2時間	鈴木	

先行履修科目					
テキスト	指定するテキストはとくにない。必要に応じて資料を適宜示す。				
参考文献	適宜指示する。				
科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「環境」に位置付けられており、人間関係という社会環境理解のための科目である。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	◎	○			
評価方法	期末レポート（60%）授業への参加度（40%）を総合して評価する。				